

米づくり情報 第7号

令和2年8月13日
平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(8月13日)

移植日	項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	概況
6月18日	夢しずく	本年	95.0	423	13.5	【気象】 ：8月6日から8月12日の気象を平年値と比較すると、気温は0.6℃高く、日照時間は48.3%と短く、降水量は251%と多かった。 【生育】 ：平年と比較して 【草丈】 「夢しずく」は高い。「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」は平年並み。「さがびより」はやや高い。 【茎数】 「夢しずく」は多い。「ヒノヒカリ」はやや少ない。「さがびより」はやや多い。「ヒヨクモチ」は少ない。 【葉齢】 「夢しずく」、「ヒヨクモチ」は平年並み。「ヒノヒカリ」はやや遅れている。「さがびより」はやや進んでいる。
		平年	89.9	394	13.5	
		平年比(差)	106	107	0	
6月19日	さがびより	本年	79.9	474	14.0	「夢しずく」、「ヒヨクモチ」は平年並み。「ヒノヒカリ」はやや遅れている。「さがびより」はやや進んでいる。
		平年	78.0	479	13.6	
		平年比(差)	102	102	+0.4	
6月19日	ヒヨクモチ	本年	73.4	586	14.0	「夢しずく」、「ヒヨクモチ」は平年並み。「ヒノヒカリ」はやや遅れている。「さがびより」はやや進んでいる。
		平年	73.5	654	14.0	
		平年比(差)	100	90	0	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の生育から判断すると、「夢しずく」の出穂期は平年より2~3日遅くなる見込みである。 ○ 間もなく「さがびより」及び「ヒヨクモチ」は穂肥の時期を迎えるので、穂肥診断に基づき適正に施用する。(標準的な穂肥時期：さがびより…幼穂長10mm、ヒヨクモチ…幼穂長1~5mm) ○ 水管理は、茎の充実を図るために引き続き間断灌水を行う。 					

注)・「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/25、播種量 湿粳 180g/箱)
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)
 ・栽植密度：「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm、19.6株/m²(65株/坪)
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm、16.7株/m²(55株/坪)
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm、22.2株/m²(73株/坪)
 ・栽培管理：施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
 ・概況欄の生育の平年値との比較については、以下のように定義している。
 低い(少ない、遅れている)：94以下、やや低い(やや少ない、やや遅れている)：95~98、平年並み：99~101、やや高い(やや多い、やや進んでいる)：102~105、高い(多い、進んでいる)：106以上
 ※平年値は、過去7ヵ年(平成25~令和元年)の数値の最高と最低を除いた5ヵ年の平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実肥
夢しずく	3.0(6/16)	0.0	2.0(8/3)	—	—
ヒノヒカリ	4.0(6/16)	2.0(7/10)	3.0(8/11)	—	—
さがびより	5.0(6/17)	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0(6/17)	3.0(7/13)	4.0	1.5	1.5

※カッコ内の日付は農試作況ほ場における施用日

【幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成始期		出穂期	
	本 年(平年差)	平 年	本 年	平 年
夢しずく	7月31日(+3日)	7月28日	未	8月17日
ヒノヒカリ	8月5日(0日)	8月5日	未	8月27日
さがびより	8月10日(+1日)	8月9日	未	9月1日
ヒヨクモチ	未	8月14日	未	9月7日

※8月13日現在

令和2年産 稲作期間気象図
アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

